

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本人の大学生のスタイル
Author(s)	コレヴァ エミリア,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 23期 : 40 - 55
Issue Date	2009-01-09
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038810">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038810</a>
Right	
Relation	



# 日本人の大学生のスタイル

コレーヴァ・エミリア

## 1. はじめに

「世界の人々のスタイルはそれぞれ違う」とずっと思っている。どうして違うのだろうか。その国の文化の影響、メディアで流される情報の影響、個人のアイデンティティの表し方など、様々な答え方ができる。

日本語と日本文化を勉強し始める前は、日本人に対して、イメージをほとんど持っていなかったが、数年にわたり日本語を勉強しているうちに、日本人のイメージが次第に形作られてきた。しかし、2年前日本に初めて来た時、既に抱いていた日本人のイメージと実際に見た日本人は違っていた。

日本に来るまで、日本人がどのような日常生活を送っているかはあまり知らなかった。どんなイメージがあったかと言えば、みんな必死に仕事をし、スーツしか着ないというようなものだ。しかし、来日してみると、そうではないと分かった。スーツばかりではないし、非常にカラフルなものを着ているのを見てびっくりした。特に若者のスタイルに驚いた。みんないろんな色を組み合わせたデザインの服を着ている。また、女性はズボンの上にワンピースを着たり、重ね着をしている。また、男性のほうも少し変わったデザインのカバンを持ったり、服装で自分のアイデンティティを見せようとしているように思った。最も驚いたのは実は靴のサイズだった。みんな実際の足のサイズより大きな靴をはいているような気がした。それが不思議でたまらず、どうしてなのかその理由を調べたくなった。

2年前初めて日本へ来た時に見た日本人の若者のスタイルが強く印象に残り、帰国してから「20代の日本人とブルガリア人のスタイル」というテーマで研究した。

## 2. これまでに行った研究

初めての来日の後、帰国してすぐ20代の日本人とブルガリア人のスタイルについて研究しはじめた。日本と私の母国であるブルガリアの20代の若者の「スタイル」に大きな違いがあると思え、2つの国で若者のスタイルを比較しようと決めた。

そこで、20代の日本人とブルガリア人のスタイルについて調べるためにアンケート調査を行った。そのアンケート調査の回答を見ると、いくつか面白いことに気がついた。似たところもいくつかあったが、予想した通り大きな違いがあった。例えば、回答してくれた人の半数以上が流行のファッションに影響を受けているのだが、その影響を受けるマス・メディアが違っていた。日本人の場合はテレビのドラマや日本のファッション雑誌、ブルガリア人の場合はミュージック・チャンネルとファッション情報番組だった。服装にも違

うところが結構あった。しかし、「重ね着をしますか。」という質問に日本人は予想通り多くの人が「はい」と答えたが、驚いたことにブルガリア人も半数ぐらいが「はい」と答えた。このような調査結果を見て、ちょっと驚いた。私も若者の一人なのに、同じ国の若者のスタイルで意識していなかった特徴が多かったからである。

しかし、20代という年齢幅にはいろんな社会的身分の人たちが含まれる。例えば、大学生、社会人、またブルーカラー、ホワイトカラー、ニートとフリター等だ。そのため、国と国との違いよりもそれらの社会グループの間のスタイルの違いのほうが大きく出てしまい、二つの国の人々のスタイルをあまり比較できなかった。

### 3. 今回の研究

今回は広島大学に留学しているので、この機会を利用し、日本人の大学生のスタイルに絞って考察することにした。「日本人の大学生のスタイル」というテーマはこれまであまり研究されていないようなので、もっと詳しく調べたいと思ったのだ。上で述べたように20代という年齢幅にはいろんな社会的身分の人々を含んでいるため、その社会的身分によってスタイルは違うだろう。例えば、大学生と会社員では、「普段着」という概念が少し違い、アクセサリーの付け方や化粧の仕方なども違っているようだ。すると、どれか一つの社会集団を選ばなければ、満足できる研究はできない。そこで、今回は大学生のスタイルについて研究することにした。

大学生という社会集団を選んだのは、大学生は最もスタイルが自由だろうと考えたからだ。中学生や高校生はだいたい毎日制服を着て学校へ行くようだ。社会人である会社員は勤務先にもよるが、だいたいスーツを着るだろう。しかし、大学生だけは、好きな格好で日常生活を送れる。

この研究の目的は、同じ地域に住んでいても、所属する大学によってスタイルが違うのかどうか、どのように違うのかを明らかにすることである。研究の手順としては、主にアンケート調査、そしてインタビューを行い、そのデータを考察することにした。具体的には広島県内の2つの大学でアンケート調査を行った。

### 4. 本レポートで使うキーワードとその定義

既に「スタイル」という言葉を何回も使ったが、どういう意味で使ったか簡単に説明しておく。電子辞書で「スタイル」と入力すると、次のような定義が出て来る。『様式、型』（例：ライフ・スタイル）、文体、筆致；美術や芸能や建築などの様式」。このレポートでは「スタイル」というと、服の着方や髪型、アクセサリーの使い方、化粧の仕方など、つまりどんな格好をして、外へ行くかを意味する。つまり、「スタイル」とは個人的な好み、その時の気分を表すものと言って間違いはないだろう。

また、このレポートではアクセサリーというカテゴリーにイヤリング、指輪、ネックレス、ブレスレットしか含めていない。

## 5. 研究の手段

調査の主たる方法であるアンケートは、上で述べたように、今回は広島県内の二つの大学で行った。広島大学と広島市立大学である。広島大学では、69枚のアンケート用紙を枚配布し、49名から回答をもらった。また、広島市立大学では50枚を配布し、36名から回答をもらった。平均回答率は70.5%である。

アンケート調査の結果について述べる前に、アンケートに挙げた質問事項を選んだ理由を簡単に説明する。

日本でもうほぼ1年生活しながら日本人のスタイルをよく観察してきた。そして、やはり日本人はファッションとして流行しているものを大事にしているような気がした。町に買い物に行っても、大学に行っても、また、旅行に出かけても、周りの日本人はみんな最新の流行を追っているように見えた。そして、日本人は周りの人にどう思われるかをよく気にし、自分の外見によく注意を払っていることに気づいた。例えば、あまり肌を見せず、化粧なしで出かけないのが普通のようなからだ。また、買い物をする時に、よくブランドにこだわることに気づいた。それで、アンケートの質問は以下の主な3つのテーマに分けた。

まず第一に、ファッション・スタイルを具体的にどう理解しているか、自分のスタイルにマス・メディアや周りの人が影響を与えているかを尋ねた。第二に、回答者自身のスタイルについて詳しく聞いた。自分のスタイルに満足しているか、どんな時にどんな服装をしているか（普段着、パーティーの時）、髪型、化粧（女性のみ）、身につけているアクセサリについてもいくつかの質問をした。ファッションと言えば、やはり女性のファッションがまず頭に浮かぶ。国を問わず、どこでも男性より女性のほうが服装や髪型、アクセサリなどを気にするものだ。私のアンケートに回答してくれた人も女性が多い。私がアンケートを配った学部の学生は女性のほうが多かったのは確かだが、一般的に男性はあまりファッションに興味がないようだ。第三にブランド物について聞いた。選択肢付きの質問はほとんどが複数回答であった。さらに、それぞれの質問について「その理由を教えてください」という書き込み欄も含めた。

## 6. 調査前の予想

現在はマス・メディアがなければ、世界で何が起きているのか、何が流行しているのかという情報は手に入らない。日本も例外ではない。この影響はきわめて大きい。どこの国でもメディアは人々の日常生活やライフ・スタイル、またファッション・スタイルに大きな影響を与えている。

今の大学生のスタイルにマス・メディアがどの程度影響を与えているのかは詳細なアンケート調査を行って見ないと明らかにならないが、私が今までに観察した限りでもかなり影響が大きいように思える。その影響を受けた自分のスタイルにみんな満足しているのだろうか。これも知りたい。

「重ね着をする」流行は、私は日本で始まったと考えている。着物の文化を見れば分かるように、日本人は昔から重ね着をしているからだ。例えば、起源が平安時代にさかのぼる十二単(じゅうにひとえ)だ<sup>1</sup>。しかし、現代の若者がどうして重ね着をするのだろうか。その理由をぜひ知りたいと思い、重ね着についての質問もアンケート項目に入れた。

また、日本人はブルガリア人、あるいはヨーロッパ人一般と比べ、あまりアクセサリ(宝石、特にブローチ、ネックレス、イヤリングなど服装をひきたたせるための装身具)を身に付けないようだ。これは文化、歴史と関わりがあるのだろう。昔からあまり身に付けていないようだ。日本の伝統的なアクセサリはイヤリングやネックレスではなく、やはり扇子や団扇、蛇の目傘やかんざしなどのようである。しかし、今はマス・メディアによって、アクセサリを付ける習慣が海外から日本人の若者、大学生に伝わっているだろう。

## 7. インタビューの結果

広島大学の日本人の学生と留学生、広島市立大学の日本人の学生、様々なイベントで会った他の大学に通う学生を今回インタビューと観察の対象とした。

アンケート調査を行う前に、まず日本人の大学生のスタイルを観察したのだが、母国であるブルガリアの大学生と日本の大学生のスタイルには大きな違いがあった。ブルガリア人の方は露出度が高いのに対し、日本人はあまり肌を見せないのだ。日本人の女性はミニスカートを好んではきはするが、タンクトップはあまり着ない。つまり、肩のあたりの肌をあまり見せない。また、ブルガリア人の男性は夏になると、袖のないノースリーブのTシャツをよく着るのだが、日本人にはそういう傾向があまりない。

今私は広島大学の学生なので、いろんな機会を利用して学生同士で話し、スタイルについて具体的な質問をしてみた。そのおかげで、いろいろなことが分かった。一度ある女性とブランド物について話したことがある。彼女はあるブランドが好きで、そのブランドの商品(衣類など)をかなり買うと言った。しかし、そのブランドの商品は長く使え、すぐ終わってしまう流行のものではないそうだ。彼女は、流行物はワンシーズンしか着られないので、高価なブランド物を買うのはもったいないと言った。他の学生にも「広島大学の学生のスタイルはほかの大学と違うのか?」と聞いたら、最初みんなそんなことはないと言っていたが、少し時間がたつと、やっぱり違うという答えが返ってきた。広島県内の他の大学と比べると、広島大学の大学生のスタイルはカジュアルだそうだ。それで、大学へ行く格好で市内(広島市内)へ行くのは恥ずかしいらしい。とはいえ、市内へ行く格好で大学へ行くのも恥ずかしいらしい。広島大学のキャンパス内でもいろんなスタイルが見られるとも言う(ゴスロリなど)。

---

<sup>1</sup> 単衣とは男女装束の最も下に着る衣である。十二単とは十二枚重ねたものと思われる。女房装束を十二単の俗称で呼ぶようになったのは、江戸時代からと伝えられる。

<http://www.bb.em-net.ne.jp/~maccafushigi/mac/1.htm>

<http://www.kimono-japan.co.jp/jidaiisyo/01.html>

日本人の大学生の知人以外に、留学生の知り合いにも若い日本人のスタイルについて尋ねてみた。私と同じように、西洋人はほぼみんな驚いたと言った。一方、アジア系の人にも尋ねたのだが、みな日本人のスタイルをおもしろく思うと言った。日本はアジアの国の一つだが、他のアジア諸国と違って、特別な日本のファッション・スタイルがあるようだ。そういう意見を聞き、おもしろいと思うのは私だけではないと分かった。

## 8. アンケート調査の結果

(別添アンケート資料参照)

今回のアンケート調査は広島大学と広島市立大学で行った。アンケート調査の対象としたのはこれら2つの大学の学生だ。広島大学の学生49名(女性30名、男性19名)と広島市立大学の学生36名(女性32名、男性3名)がアンケートに答えてくれた。

アンケートで行った質問にはほとんどが複数回答で答えられている。そこで、回答数をパーセンテージで表す。

アンケートは次の3つのセクションに分けられている。(i) 回答者のスタイルに影響を与えるもの、(ii) 回答者自身のスタイル、(iii) ブランド物についての回答者の意見である。

### 8-1. 回答者のスタイルに影響を与えるもの

表1に示すように、「あなたのスタイル(服・髪型・化粧など)に影響を与えると思うのはどれですか。(複数回答)」という質問に、広島大学の学生と広島市立大学の学生では回答が少し違う。広島大学は学生のスタイルに友人・知人、流行・ファッション、家族という順に影響を与えるということがわかる。「友人・知人」は49%、「流行・ファッション」は31%、「家族」は20%となる。) それに対して、広島市立大学の学生はスタイルが「流行・ファッション」、「友人・知人」、「家族」という順に影響されるようである。「流行・ファッション」は51%、「友人・知人」は37%、「家族」は12%となっている。

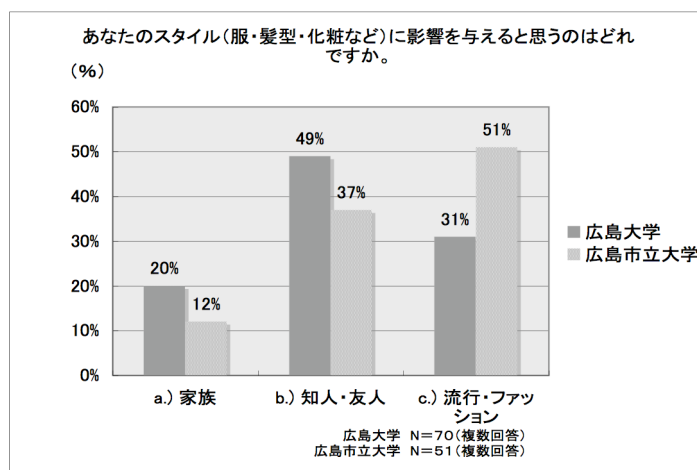


表1 「あなたのスタイル(服・髪型・化粧など)に影響を与えると思うのはどれですか。(複数回答)」Nは回答数を示す。

どうしてこのように答えたのかも質問してみた。2つの大学の学生の答え方は少し違っているが、書いてくれた理由にも少し違いがあった。広島大学の学生は「友人が一番身近と感じられるから」、「身近な人からもらう率直な意見と雑誌から得る流行についての情報などで、より自分に似合うスタイルに挑戦したいと思うから」、「友人・知人のスタイルが素敵だと思い、同じような格好をしてみたくなることがある。身近な同年代の人のスタイルはファッション雑誌に比べて現実味があり、よいお手本になるから」、「大学で見かける人で、おしゃれな人がいると、似たものが欲しくなるから。芸能人と違って周りの人は値段もデザインも現実的だから」「ある程度周りに合わせながら、自分の好みのものを着る」、「周囲の目が気になるから」、「いくらこれを着たいと思っても、周りに着ている人がいなければ浮いてしまうと考えて着られないから」、「流行は気にしないが、店や雑誌で見かけていいと思ったスタイルが自分のスタイルの参考になるから」、「流行の最先端にいたいと思わないが、最低限ついていきたいと思うから」、などの理由を書いている。それに対して、広島市立大学の学生は「雑誌をよく見るから」、「ファッション雑誌を毎月一冊買っていて、その中で、自分の気に入った服に似た物を探して買うから、自然と流行にのってしまう」、「雑誌を見て、かわいいと思ったものを買うから」、「雑誌やTVなどに影響されていると思うから」、「みな流行を追うから」、「お店に行っても、やっぱり流行の服が置いてあるから」「流行で、自分がいいと思うものは取り入れたいから」「自分が変に見られたくないから流行を追う」などと書いている。

これらの理由を見てみると、日本人の大学生は周囲の環境に合わせ、他の人の評価を大事にしていることが分かる。また、2つの大学では学生のセンスも少し違うようだ。広島大学は都会から少し離れているため、大学生は最新の流行を追うよりも、友達に影響されることが多いのだろう。反対に、広島市立大学の学生は最新のファッション傾向を生活の中で簡単に見聞きするので、ファッションの動きを追いやすいのだろう。

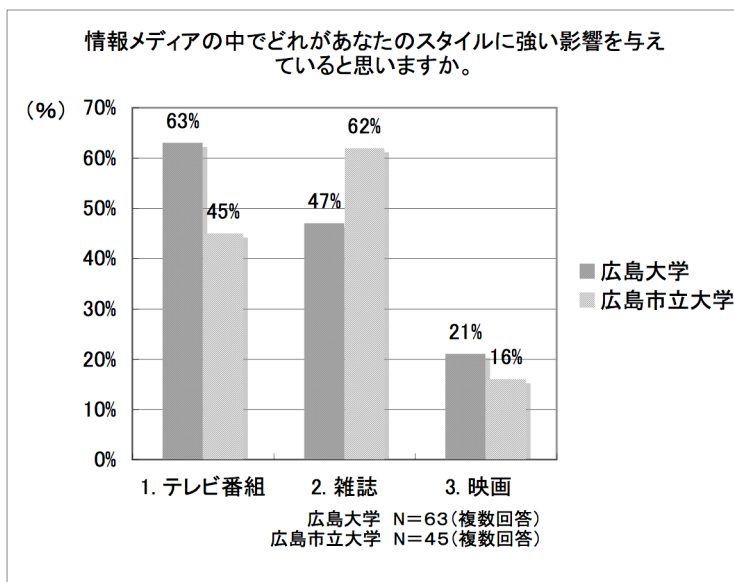
回答をまとめた結果、次のことが明らかになった。

アンケート調査を行う前に予想した通り、日本人の大学生は自分のスタイルを決めるために、周りの人（家族、友人、知人）のスタイルやファッション雑誌に載っている情報をよくチェックし、自分に最も合っているスタイルを選ぶことが明らかになった。そして、みなある程度までマス・メディアの影響を受け、無意識のうちに流行っているファッションを追うようだ。

次に、「情報メディアの中でどれがあなたのスタイルに強い影響を与えていると思いますか。」という質問には表2に示すように、2つの大学では影響を受けているマス・メディアも少し違った。広島大学で一番多い回答はテレビ番組（63%）、次は雑誌（47%）と映画

(21%)であった。広島市立大学では雑誌という回答が一番多かった(62%)。テレビ番組(45%)と映画(16%)がそれに続く。

表2「情報メディアの中でどれがあなたのスタイルに強い影響を与えていると思いますか。(複数回答)」



## 8-2. 回答者自身のスタイル

次の大きなテーマは回答者自身のスタイルである。

「洋服のコーディネートが自分は上手だと思いますか。下手だと思いますか。」と「今日着ている服は好きで満足している／あまり好きではない。」は表1と表2で示す。

表3「洋服のコーディネートが自分は：」

選択肢	回答数 (%)	
	広島大学	広島市立大学
a) 上手だと思う。	12 (31%)	7 (22.5%)
b) 下手だと思う。	27 (69%)	24 (77.5%)

表4「今日着ている服は：」

選択肢	回答数 (%)	
	広島大学	広島市立大学
a) 好きで満足している。	30 (70%)	26 (79%)
b) あまり好きではない。	13 (30%)	7 (21%)



両大学で、自分はコーディネートが下手だと思いと答えた学生はほぼ7割を占めている。それも日本の文化と関わりがあるのだろう。日本では自分のことを強く主張する習慣がないため、こういう質問に「下手だ」と答える人が多かったようである。

普段着の場合（表3）とパーティーに行く時（表4）の服の選び方には大きな違いが見られない。広島大学の学生は普段着の場合、スポーティな格好、ズボン／ジーンズを好んでいる。それは、多分ほとんどの学生は大学に通うためよく自転車に載るからだろう。広島市立大学の学生が比較的シックな服装を着るのは芸術学部の学生の専門カラーのせいかもしれない。また、驚いたことに、パーティーに一度も行ったことがないという学生もいた。他の回答者によると、パーティーとは「結婚式」なのだそうだ。これは筆者が考える「パーティー」の定義、すなわち友達が集まって遊ぶものという「パーティー」と日本人学生が考える「パーティー」が違うということだ。

表5「普段着の場合、どんな服をえらびますか。(複数回答)」

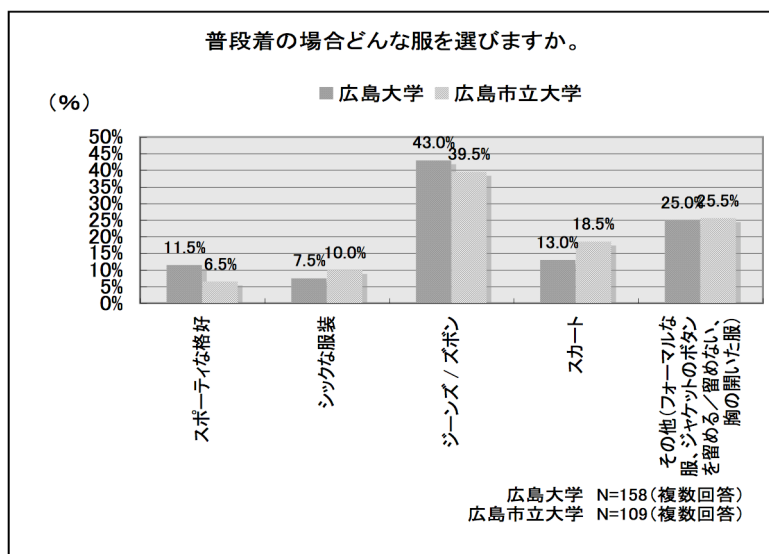
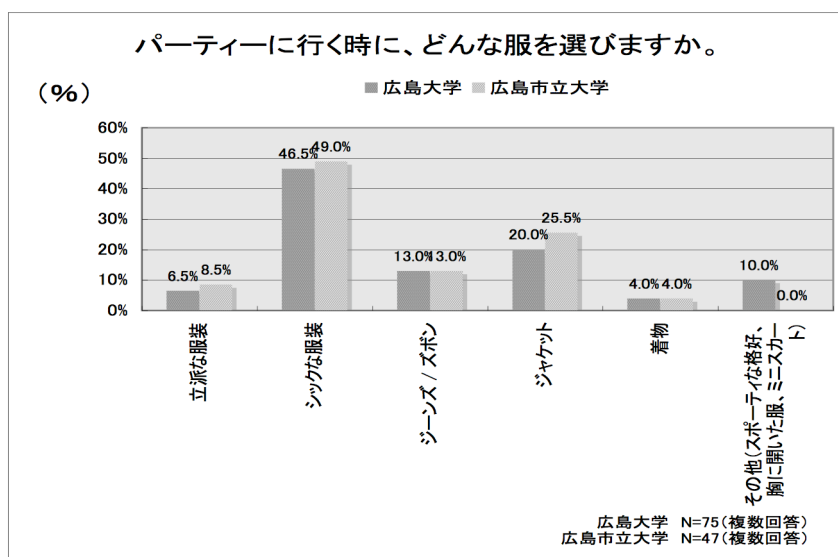


表6「パーティーへ行く時、どんな服を選びますか。(複数回答)」



日本へ初めて来た時から、なぜ日本人はあんなに重ね着をするのか知りたかった。そこで、アンケートには重ね着に関する質問も入れた。しかし、重ね着について聞く前に、何枚以上着たら、重ね着と考えるのかを確認しておかなければならない。そこで回答者にまずこの質問をしてみた。「2枚以上」という答えが多かった(広島大学-73%、広島市立大学-70%)。それに続いて「3枚以上」(広島大学-22%、広島市立大学-19%)、「2-3枚」(広島大学-5%、広島市立大学-11%)という枚数も示された。

「重ね着をしますか。」という質問への回答は表3に示す。

表7「重ね着をしますか。」

選択肢	回答数 (%)	
	広島大学	広島市立大学
a) よくする	30 (74%)	19 (54%)
b) あまりしない	9 (18%)	13 (37%)
c) 全然しない	4 (8%)	3 (9%)

この結果を見ると、広島大学の学生は広島市立大学の学生よりよく重ね着をするということが分かる。理由を聞くと、どちらの大学の学生も説明はほぼ同じだった。広島大学でも広島市立大学でも、「よくする」の理由は「1枚だけじゃ、地味だから」、「可愛いから」、「オリジナリティ度が上がるから」、「シンプルな服でおしゃれに見える」、「色々組み合わせができるから」、「バリエーションが増えるから」、「体型がハッキリ分らない」などであった。広島大学の学生には広島市立大学と違い、「西条は寒いから、仕方なくする」と答えた人が何人もいた。「あまりしない」とう答えを選んだ学生はその理由として「組み合わせ

せ・コーディネートを考えるのが面倒だから」、「面倒くさい」「重ね着が難しいから」などと書いている。

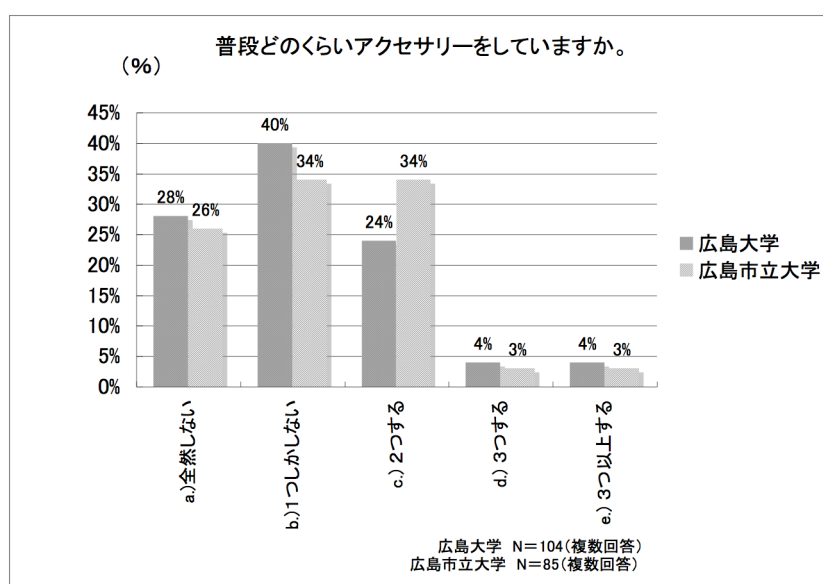
何と言っても、重ね着をするためにはスキルが必要だろう。色や生地のリミックスのセンスがないと重ね着はうまくできない。これは創造力の問題だろう。

アンケート調査を行う前に、日本人の女性は母国の女性と違い、よく化粧をするということに気づいた。それで、アンケートに化粧についての質問を入れた。化粧を全然しない女性は 11%にすぎない（広島大学-13%、広島市立大学-9%）。化粧をあまりしない女性も同じパーセンテージであった。残りの 78%は絶対に化粧するということだ。知り合いの女性にどうしてかと聞いてみると、ハッキリは説明してくれなかったが、やはり化粧のない顔を見られることに抵抗感があり、嫌がるようである。

私たち西洋人にとってイヤリング、指輪、ネックレス、ブレスレットは身に付けて当たり前のものである。女性はイヤリングをほんとうに幼い時から身に付けさせられており、付けていないと女性らしくないと見なされる。男性もほとんどの人がネックレスやブレスレットをする。しかし、日本へ来てみると、日本人はその習慣があまりないように見えた。それで、アンケート項目にアクセサリーの質問も入れた。結果は以下のようになった。

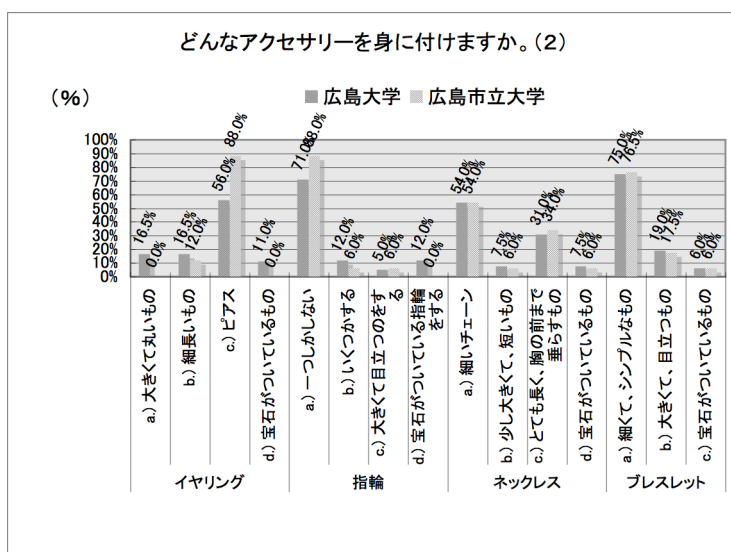
表 5 に示すように「普段どのくらいアクセサリーをしていますか。」という質問に、広島大学では「1つしかない」という答えが最も多く（回答の 40%）、次に、「全然しない」（回答の 28%）と「2つする」（回答の 24%）であった。それに対して、広島市立大学では「1つしかない」と「2つする」という答えのパーセンテージは同じだった（34%）。「全然しない」という答えは 26%であった。「3つする」と「3つ以上する」という回答はわずか 3-4%しか占めない。

表 8 「普段どのくらいアクセサリーをしていますか。」



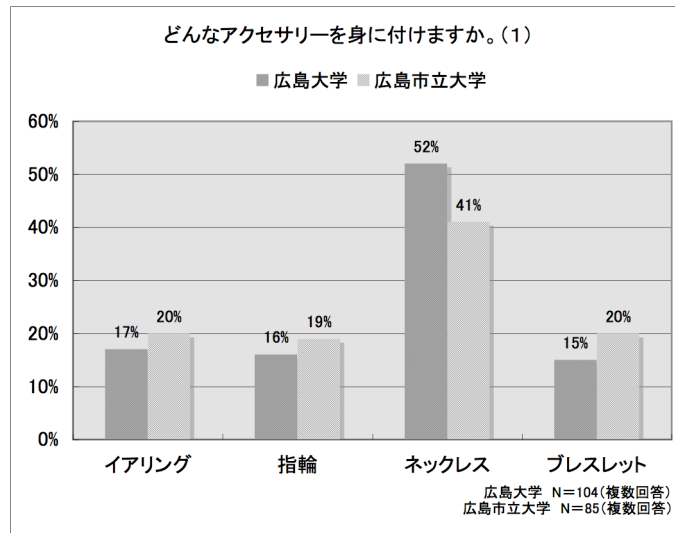
2つの大学の学生が最も身に付けているアクセサリーはネックレスであった（表 6：広島大学-52%、広島市立大学-41%）。広島大学の学生の回答によると、ネックレスの次によく身に付けられているアクセサリーはイヤリング（17%）であった。指輪（16%）とブレスレット（15%）がこれに続く。広島市立大学の学生によるとネックレスの次に好まれているアクセサリーはイヤリングとブレスレット（20%）であり、指輪は人気アクセサリーとしては四番人気であった（18%）。

表 9 「どんなアクセサリーを身に付けますか。(1)」



また、今回のアンケートで項目に上げたイヤリング、指輪、ネックレスとブレスレットそれぞれの種類と回答のパーセンテージは以下の表 7 に示す。

表 10 「どんなアクセサリーを身に付けますか。(2)」



### 8-3. ブランド物についての回答者の意見

最後に、ブランド物について尋ねた結果を述べる。

日本人はブランド物をよく買うようである。ある人の話によると、世界でブランド物を一番よく買う国民は日本人だそうだ。会社員で働いていれば、なぜブランド物を持っているか何となくわかるが、大学生にもブランド物を持っている人が少なくない。アンケートの結果を見ると、過半数の大学生がブランド物を持っていたり、買ったことがあるようだ。ブランド物は長持ちすると考えられるため、そういう物を買う学生が多かった。しかし、反対の意見を述べた学生もいた。ブランド物だからと言って、必ずしもいいとは限らないという意見があった。また、ブランド物は固有のメッセージを持っていると考える人もいた。他の意見によると、日本人はブランド物を持ち過ぎで、「名前」を着ている感じを大事にしているようである。

そのような意見もあるが、ブランド物にこだわらない日本人も多いようである。

## 9. 終りに

これらの回答をまとめた結果、次のことが明らかになった。

日本人の大学生は自分のスタイルを決める時、いろんな人の意見や影響を受けやすいようだ。一番身近な存在である友人や家族のアドバイスを聞いたり、周りの人のスタイルを見たり、マス・メディアが流している情報を拾ったりすることによって、自分が変に見られないよう、それらの中から自分に最も合うものを選ぼうとする。

広島大学の学生と広島市立大学の学生とではスタイルに似ているところもあるが、違うところもあった。2つの大学の学生はスタイルを決める時に受ける影響が少し違うということが明らかになった。広島大学の学生に最も影響を与えるのは友人・知人である。続いて流行・ファッションと家族である。広島市立大学の学生に大きな影響を与えるのはまず

流行・ファッションである。そして知人・友人と家族が次に来る。また、2つの大学では影響を受けているマス・メディアも少し違った。広島大学で一番多かった回答はテレビ番組、次は雑誌と映画である。広島市立大学では雑誌という回答が一番多くテレビ番組と映画が次に来る。

重ね着については2つの大学で回答にはほとんど差が現れなかった。何枚以上着たら重ね着と考えられるかという質問には「2枚以上」という答えが一番多かった。さらに男女、大学を問わず、「重ね着をよくする」と答えた学生も多かった。

また、日本人の大学生はあまりアクセサリをつけないということが分かった。普段アクセサリは1つしかつけない学生が多かった。その場合、ピアスや細いチェーンのネックレスをするようだ。

ブランド物については、持っている日本人の学生がわりと多かった。また、ブランド物なら、やはり長持ちすると考える学生も多かった。

今回調べることができたのは日本人の大学生のスタイルについてだけである。スタイルに強い影響を与えるのは何か、どんな時にどんな服を着ているか、どんなアクセサリをどのくらい身につけるかが主である。しかし、今後現在の日本人のスタイルはどうしてこのようになってきたのか、その原因についてさらに詳しく調べたいと思う。

アンケートに答えてくださった方々、広島大学の様々な学部の学生、また広島市立大学の国際学部の学生、協力してくださった両大学の先生方にお礼を申し上げたいと思う。また、このレポートを完成できたのは広島大学留学生センターの先生方のおかげである。



V. 以下の場合、どんな服を選びますか。(複数回答可)

1. 普段着

- a) フォーマルな服
- b) スポーティな格好
- c) シックな服装
- d) ジーンズ/ズボンはヒップハング/ヒップハングではない  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- e) ゆるい/タイトな ジーンズ/ズボンをはく  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- f) ジャケットのボタンを留める/留めない  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- g) 胸の開いた服
- h) ミニスカート/普通丈/ロングスカート  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- i) 着物

2. パーティーに行く時

- a) 派手な服装
- b) シックな服装
- c) スポーティな格好
- d) ジーンズ/ズボンはヒップハング  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- e) ゆるい/タイトな ジーンズ/ズボンをはく  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- f) ジャケットのボタンを留める/留めない  
(選んだものに下線を引いて下さい。)
- g) 胸の開いた服
- h) ミニスカート
- i) 着物

VI. 重ね着について教えてください。

1. あなたにとって、重ね着は服の何枚以上ですか。

2. 重ね着をしますか。

a) よくする

b) あまりしない

c) 全然しない

3 その理由を教えてください。

--

4. どんなものを重ね着しますか。( )

VII. どんなアクセサリを身につけますか。身に付けるものの番号に丸をつけてください。(複数回答可)

1. アクセサリを買う時一緒に行った人や店員の意見をよく聞く/聞かない  
(選んだものに下線を引いて下さい。)



2. 普段どのくらいアクセサリーをしていますか。

- a) 全然しない
- b) 1つしかしない
- c) 2つする
- d) 3つする
- e) 3つ以上する

3. イヤリング

- a) 大きくて丸いもの
- b) 細長いもの
- c) ピアス
- d) 宝石がついているもの

4. 指輪

- a) 一つしかしない
- b) いくつかする
- c) 大きくて目立つのをする
- d) 宝石がついている指輪をする

5. ネックレス

- a) 細いチェーンに小さいペンダント・トップがついている / 付いてないもの (選んだものに下線を引いて下さい。)
- b) 少し大きくて、短いもの (チョーカーなど)
- c) とても長く、胸の前まで垂らすもの
- d) 宝石がついているもの

6. ブレスレット

- a) 細くて、シンプルなもの
- b) 大きくて、目立つもの
- c) 宝石がついているもの

7. 服装によってアクセサリーを選びますか。

- a) はい
- b) いいえ

VIII. ブランド物についての意見を教えてください。

1. ブランド物をお持ちですか。

- a) はい
- b) いいえ

2. ブランド物を買ったことがありますか。

- a) はい
- b) いいえ

3. どんな物ですか。

- a) 買った頃流行していた物
- b) 流行とは関係なしに、長い間着られる / 使える物
- c) 気に入った物

さらに、ブランド物の意見を持ったら、教えてください。

ご協力ありがとうございました